

高校生「外科手術体験セミナー」in 青森

2012.6.30

青森高校 学習センター

袴田教授の挨拶でセミナーが始まりました。



参加高校生の皆さんの表情には緊張感が漂います。

参加スタッフの自己紹介、医師32名、医学生20名、協力企業のスタッフを含めると総勢75名です。





キャップ、マスクを着けて、ガウンを羽織れば....



「かっこいい外科医」に変身完了。総勢56名です。



今回も7つのコーナーを用意しました。

手術室体験コーナー



手術室体験コーナーではリアルさを追求。



使用する器具の名前・用途を覚えて、いざ手術に臨みます。



このコーナーでのミッションは“肝腫瘍の切除”です。
豚のレバーに支持系をかけて糸結びをした後、電気メスにて肝切除を
してもらいました。

腹腔鏡手術トレーニングコーナー

直視下タイプと鏡視下タイプの2種類のトレーニングボックスを用意しました。



「もどかしさ」の意味が伝わったでしょうか？



後ろ姿からもその熱心さが伝わってきます。

超音波メスコーナー

超音波凝固切開装置とベッセルシーリングシステムを用意しました。
いずれの装置も私たちが実際の手術で使用している物です。
鶏肉を使ってそれぞれの切れ味を確かめてもらいました。



かわいい女性外科医 赤坂先生、
熱く細やかなご指導ありがとうございました。

手術シミュレーターコーナー

高額な手術シミュレーターを4台用意しました。



術者と助手、役割を分担をして手術を進めます。



真剣な顔もみられますが、余裕？の笑顔も。皆さんとても上手でした。



スーチャリングコーナー ① 皮膚モデル

皮膚モデルを使つての縫合手技体験です。



指導医師が個性派揃いのコーナーです。
マンツーマンでじっくりと、楽しく、ご指導いただきました。



スーチャリングコーナー ② 腹壁モデル

腹壁モデルを使っでの閉腹手技体験です。



手術の基本中の基本、糸結びの練習後、手術器具の説明を受けていざ本番です。



2人で1チームになり腹壁を縫合、閉腹操作を完了しました。



腸管吻合コーナー

腸管に見立てたスポンジを使っでの縫合手技体験です。
難しいかな？と心配しながらも、今回は手縫いと自動縫合器
の2つの手技を用意しました。



ふたを開けてみると.... なんの心配もいりませんでした。
手縫いコーナーでは皆さんの器用さに驚かされました。



自動縫合器コーナーでは、恒例の『ファイヤー』のかけ声が挙がり、
大いに盛り上がりました。



休憩時間を利用したの鳴海准教授からのミニレクチャーの様子です。
少しだけ私たち外科医の仕事内容について説明させていただきました。



休憩時間を利用して、医学生も勉強です。



大勢のスタッフの皆さん、ご協力ありがとうございました。



セミナー参加者には、袴田教授から一人ずつ修了証書の授与がありました。握手のご利益があるといいですね。



教授から『外科医になってもいいなと思う人』という質問がありました。多くの手が挙がり、スタッフからは拍手が起きました。



最後はやはり工藤先生です。『ファイヤー』のかけ声でセミナー修了となりました。私たちスタッフも本当に楽しい時間を過ごさせてもらいました。